

イーハトーブと満洲国



[イーハトーブと満洲国_ダウンロード1](#)

著者:宮下隆二

出版者:PHP研究所

出版时间:2007

装帧:

isbn:9784569692463

宮沢賢治と石原莞爾。それぞれが描いた理想郷が「イーハトーブ」と「満洲国」であった。一方は文学の世界で描いたユートピア。他方は満洲事変の立役者が国家体制として描いた王道楽土。この奇異な取り合わせの真意とは何か。

同時代を生きた二人が日蓮＝法華經の信者であることは知られているが、戦後、両者への評価は真っ二つに分かれる。賢治は「雨ニモ負ケズ」で印象づけられた純粹無垢な求道者、莞爾は日本を軍事国家に導いたファシスト、というように。しかし両者には、同郷、同世代であること以外に、先述のように、法華經の熱心な信者であったという重要な共通点がある。戦前、時期を同じくして、二人は法華經教団「国柱会」の会員となり、その主宰者・田中智学に傾倒していく。

本書は、これまで誰も正面から論じることがなかった二人の思想・信仰について柔軟な筆遣いで明らかにする。「あの戦争」が何であったかを斬新な切り口で検証する画期的論考。

作者介绍:

目录:

[イーハトーブと満洲国_ダウンロード1](#)

标签

中日战争

评论

[イーハトーブと満洲国_ダウンロード1](#)

书评

[イーハトーブと満洲国_ダウンロード1](#)